



津山市地域おこし協力隊 灘岡 弘二さん（北園町）

大阪府出身で、大学を卒業後、東京で就職。自然に囲まれた生活に憧れ、移住相談の場で興味を持った津山に移住を決める。地域外の目線で津山の魅力の発見や情報発信がしたいと、地域おこし協力隊に応募。令和2年4月に就任し、津山市観光協会で活動している。

方言や習慣もまちの魅力

観光協会では以前から、フェイスブックやインスタグラムでイベントのお知らせやその様子などを発信していましたが、情報の拡散力が高いツイッター、視覚的に多くの情報が伝わる動画やイラストを掲載しやすいYouTubeやnoteなどを新たに始めました。地域の人から、ガイドブックに載っていない場所や変わった植物などの情報を教えてもらい、現地で撮った写真を中心に発信しています。また、津山とは違う環境で暮らしていたわたしが面白いと思った方言や習慣などを、ごんごかっぱが登場する4コマ漫画で投稿しています。

旅行者の集う場所を作りたい

旅をするのが好きで、約200日で28カ国を巡った世界一周などで国内外のいろいろな場所を訪れました。旅の経験から、最近の旅行の傾向として、観光地を巡るだけでなく、地域の人や他の旅行者とのふれあい、暮らしに近い体験を求める人が増えていると感じています。長期間滞在し、農作業など地域の人の手伝いや、特技を生かした教室などができる場所を提供する地域もありました。

市外の人に、津山城などよく知られている観光地やイベントだけでなく、もつといういろいろな津山を知ってもらおう、また、市内に住む皆さんにも「これって実は面白いんだ」と、津山の魅力を再発見してもらおうきっかけになればいいです。

訪れた人が津山を好きになって移住し、どんどん賑やかな街になるように、津山のまちなかの魅力を伝える情報発信を続けていきます。

市外の人に、津山城などよく知られている観光地やイベントだけでなく、もつといういろいろな津山を知ってもらおう、また、市内に住む皆さんにも「これって実は面白いんだ」と、津山の魅力を再発見してもらおうきっかけになればいいです。

訪れた人が津山を好きになって移住し、どんどん賑やかな街になるように、津山のまちなかの魅力を伝える情報発信を続けていきます。



灘岡さんが描く4コマ漫画

他の4コマ漫画はコチラ
「note 津山市地域おこし協力隊」



手芸や模型作りなどの細かい作業が好きで、休日によく取り組んでいます。最近では、木製の歯車などを組み合わせて作る宝箱に挑戦しました。仕掛けがきちんと動くように組み立てることができ、気分はスッキリ。ただ、作品や作業に使う道具がどんどん増えるので、収納をどうするか悩みの種です。

買ったおにぎりやパン中心の昼食に飽き、自前弁当に切り替えました。登場したのは、母が残しておいてくれた高校時代のお気に入りの弁当箱。あ、昨日と同じ。茶色いおかずばっかり…。苦笑いする日も多く、毎日工夫してくれていた母に改めて感謝しながら、無理せず、楽しく続けていきたいです。

17ページのC11形蒸気機関車を撮るため、津山駅に行きました。30年前に一度だけ蒸気機関車に乗ったことがあり、その形式がC11形でした。走行中の生き物のような躍動感と力強さは、今でも目に焼き付いています。津山駅に行く、蒸気機関車の動く姿を思い出すことができるので、また訪れたいです。